

エダマメで壱岐島活性化を目指して！

～壱岐地区青年農業者連絡協議会（4Hクラブ）プロジェクト活動～

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

露地の園芸品目は夏場に栽培できるものが少なく、壱岐での導入が進んでいません。そこで、壱岐地区青年農業者連絡協議会（通称：壱岐4Hクラブ）では、壱岐の新たな夏場の高収益品目候補として今年度からエダマメ栽培に取り組んでいます。

新たな試みとして有色大豆4品種をエダマメとして栽培したところ、有色大豆は一般の大豆品種と色が異なるだけでなく、食味は良好で、品種によって異なる風味が得られました。また、有色大豆は加工用大豆としても様々な用途が期待できますので、壱岐の食品加工業者などと連携して、新たな特産品開発の可能性も広がります。ただし、収穫調整には非常に手間がかかるため機械化など作業の省力化が必要です。

4Hクラブとして、壱岐地域の農業の課題の1つである効率的な輪作体系の確立に向け、有色大豆エダマメの安定生産技術について、引き続き検討を行っていきます。



（左からフクユタカ、キヨミドリ、赤大豆、秘伝、クロダマル）

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

壱岐島内における鳥獣被害対策状況について

焼酎原料用大麦栽培におけるカモ食害対策を実施しています

壱岐島内では、壱岐焼酎原料用の大麦を栽培していますが、近年生育期間中にカモによる食害が発生しています。カモは警戒心が強く、夜間に飛来し大麦が食害に遭うことから、各生産者は大麦圃場内に吹き流し等を設置することで食害対策を実施しています。焼酎原料用大麦の品質・収量向上のため、今後も対策に取り組んでいきましょう。



6年ぶりにイノシシが捕獲されました

昨年12月、壱岐島内では6年ぶりにイノシシ（オス、140kg）が捕獲されました。ここ数年イノシシの痕跡がみられていた郷ノ浦町初山西触で、地元猟友会など壱岐地域鳥獣被害防止対策協議会が、対馬猟友会の協力を得て、痕跡や目撃情報をもとに罠を設置。罠にかかったイノシシの姿をセンサーカメラで捉え、捕獲に至りました。



イノシシは海を渡って壱岐に上陸した可能性があり、壱岐地域鳥獣被害防止対策協議会では今後も警戒を続ける予定です。イノシシの姿を目撃したり、痕跡を発見した際は情報提供をお願いします。

【提供先】壱岐市農林課 42-6112

JA壱岐市営農センター 45-3805

壱岐振興局農業振興普及課 45-3038